

民生委員・児童委員の活動を発信!!

# Well うエル おおさか

27  
2012.7

## 特集 第64回 大阪府民生委員児童委員大会

◎イキイキ ハツラツ

民生委員・児童委員さん

交野市民生委員児童委員協議会

民児協だより

吹田市民児協／豊中市民児協連

河南町民児協／田尻町民児協

四條畷市民児協



# 第64回大阪府民生委員 児童委員大会



特集

## 第64回 大阪府民生委員 児童委員大会

日時 平成24年5月18日 13時～15時30分  
会場 大阪国際交流センター 大ホール

5月18日、第64回大阪府民生委員児童委員大会が大阪国際交流センターにて開催されました。当日は、大阪府内の民生委員・児童委員をはじめ、多数の来賓が出席し、活動事例の発表や永年活動者への表彰、記念講演等が行われました。

今回の大会では、河内長野市民児協の横山和子さんが司会を務められ、茨木市民児協の畑会長による開会のことばで第一部の記念式典がスタートしました。主催者あいさつとして松井一郎大阪府知事のメッセージを大阪府福



大阪府社会福祉協議会  
梶本 徳彦 会長



大阪府民児協連  
羽原 義人 会長



大阪府福祉部  
伊藤 裕康 医療監

## ■表彰状・感謝状授与者

厚生労働大臣特別表彰 14名

大阪府知事表彰

永年勤続民生委員

会長・副会長表彰(10年勤続) 1名

永年勤続民生委員副会長表彰(10年勤続) 3名

永年勤続民生委員表彰(20年勤続) 16名

永年勤続主任児童委員表彰(20年勤続) 1名

優良民生委員表彰(10年勤続) 496名

優良主任児童委員表彰(10年勤続) 23名

社会福祉事務職員に対する

大阪府民生委員児童委員協議会連合会

会長感謝状

64名

## 活動事例 発表



「安心ダイヤルに登録することで、一人暮らしのお年寄りが地域の人と顔なじみになるといった事例があった。今後も見守り活動を続けたい」と述べる阪南市民児協の佐藤多津子さん



社部の伊藤裕康医療監が代読。「大阪府では災害に強いまちづくりなどの施策に取り組んでおり、府民の身近な良き支援者である民生委員・児童委員の力添えが不可欠。公民協働で取り組んできた大阪の福祉を充実させるためにご協力をお願いしたい」と述べました。

次いで大阪府民児協連の羽原義人会長が「孤独・孤立の問題や児童虐待問題も深刻化する中、地域住民や関係機関との連携を深め、福祉と共生のまちづくりに貢献したい」と抱負を語りました。続いて大阪府社会福祉協議会の梶本徳彦会長が「民生委員・児童委員が社会の変化に応じた活動を積極的に展開していることは心強く、今後の地域福祉の向上に期待している」と期待を寄せました。

活動事例発表では、阪南市民児協の佐藤多津子さんが「阪南市における『くらしの安心ダイヤル事業』と民生委員活動との関わり」をテーマに、自分自身の活動を交えながら発表。「阪南市では高齢者や障がい者など災害時要援護者を対象とした『くらしの安心ダイヤル』事業を民生委員や福祉関係者、行政が一体となって推進している。情報の管理や共有などの課題はあるが、民生委員だけで地域を見守ることは困難。自治会、自主防災組織とも連携し、協働の精神で活動を進めたい」と述べました。



司会

河内長野市民児協  
横山 和子さん

## 第64回 大阪府民生委員児童委員大会 大会宣言

- 一、住民一人ひとりの置かれている状況や思いを真摯に受け止め、住民の立場に立った「寄り添う」個別援助活動を推進します。
- 一、複雑で困難な生活課題を抱え支援を必要とする人々への見守り・相談支援活動を着実に進め、地域住民とのつながりづくりや、孤立・孤独をなくすための活動に取り組みます。
- 一、子育て中の家庭を支えると共に、子どもを児童虐待や犯罪被害から守り、子どもが健やかに成長できるよう取り組みます。
- 一、災害時に要援護者を地域全体で支えられるよう、平時からの活動を活かした安否確認体制や各種団体とのネットワーク構築に取り組みます。
- 一、被災地の一日もはやい復興にむけて、民生委員・児童委員として求められるあらゆる支援について全力で取り組むとともに、風評被害に対する正しい理解が得られるよう働きかけます。
- 一、民生委員・児童委員が活動しやすい環境づくりの実現に向けて、民生委員・児童委員の地位向上と社会的評価の高揚を目指し、「顔の見える民生委員・児童委員」としての活動推進および、住民や関係機関・団体への働きかけを積極的に進めます。

平成24年5月18日

第64回 大阪府民生委員児童委員大会



永年勤続民生委員会・副会長表彰 代表  
四條畷市民児協

石原 欽子さん



厚生労働大臣特別表彰 代表  
池田市民児協

松山 祥子さん



永年勤続民生委員表彰 代表  
岬町民児協

前田 悦子さん



永年勤続民生委員副会長表彰 代表  
貝塚市民児協

前岡 照美さん

表彰状授与式では、554名の民生委員・児童委員と64名の福祉事務職員が表彰され、代表者に表彰状・感謝状が授与されました。また、常に住民の立場に寄り添う活動を推進し、「福祉と共生のまちづくり」の実現に向けた取り組みを第64回大会宣言として採択しました。

続く第2部では、岩手県陸前高田市民児協の齊藤篤志会長による記念講演が行われ、参加者は熱心に耳を傾けていました。最後に民生委員の歌「花咲く郷土」を斉唱し、活動への思いを新たにしました。



大阪府社会福祉事務職員に対する  
府民児協連会長感謝状 代表  
豊中市

東元 悦子さん



優良主任児童委員表彰 代表  
箕面市民児協

一階 和子さん



永年勤続主任児童委員表彰 代表  
大阪狭山市民児協

川上 弘美さん



優良民生委員表彰 代表  
豊能町民児協

森安 敏之さん



第二部は岩手県陸前高田市民児協の齊藤篤志会長を招いての記念講演を行いました。東日本大震災で甚大な被害を受けた陸前高田市での民生委員児童委員の震災前後の活動と今後の課題についてお話いただきました。

## 記念講演

### 東日本大震災における 民生委員児童委員活動について

#### 震災前に進捗していた、 防災意識高揚のための取り組み

陸前高田市では、震災以前より宮城沖地震が高い確率で発生すると予測されていたため、防災意識の高揚を図ろうと地震や津波への取り組みを進めていました。

各地区では、自主防災組織が立ち上がり、防災訓練を実施していたほか、災害発生時の対応や心構えを記載した「わが家の防災ガイドブック」を全戸に配布して、家庭や学校、地域で防災学習に活用していました。また、津波浸水エリアマップや要支援者地域支え合いマップの作成などにも取り組むとともに、過去に起きた三陸大津波の被害状況も調査し、さまざまな研修も進めていました。東日本大震災が発生したのは、そんな矢先のことでした。

#### 「民生委員自身も被災者に」

平成23年3月11日午後2時46分、震源は三陸沖、マグニチュード9.0という巨大地震が発生。地震の揺れによる建物の倒壊などは少なかったものの、その後の大津波により陸前高田市は壊滅的な被害を受けました。

震災時、民生委員は近隣の高齢者を高台の公民館に避難させたり、大声で避難を呼びかける等支援活動を行っていました。陸前高田市の民生委員83名中41名の自宅が全壊又は大規模半壊となり、民生委員自身も避難所にいるのがやっとの状況でした。避難誘導をしたり、住民を助けに向かっている途中で津波に巻き込まれて死亡・行方不明となった民生委員も11名いました。自らも被災し、十分な活動ができる状態ではありませんでしたが、それでも着

身着のまま避難所では物資の仕分け作業や炊き出しを行うとともに、地区を回って安否確認を行っていました。

また市民児協では、いち早く市社協災害対策本部と連携し3月26日には市民児協理事會を開催。各地区の委員の被災状況の把握、要援護者の安否確認や緊急に対応が必要な情報を共有する等組織的な活動を再開しました。

その後、子どもたちのために民家の座敷を利用した寺子屋を開設したり、社協・民児協合同で被災者のニーズ調査を実施したほか、各仮設住宅にふれあいの場を設けるといった取り組みを進めました。

#### 「日頃からさまざまな関係者と連携を図る」

一方で、仮設住宅への訪問活動のために入居者名簿の提供を市に要請しても、個人情報保護の観点からなかなか情報をいただけませんでした。そこで県社協から県へ働きかけ、最終的には名簿の提供が実現しました。

この震災を通して学んだのは、津波の危険性の認識、日常の見守りや災害時の支援が必要な世帯を確認し、さまざまな関係者との連携を図ることの大切さです。今後被災者に寄り添った活動を進めたいと思います。



●岩手県陸前高田市民児協 会長  
齊藤 篤志さん  
昭和15年岩手県陸前高田市生まれ。中学校の教員として活躍した後、平成14年より民生委員児童委員に就任、平成16年から陸前高田市民児協会長を務めている。



# 民生委員・児童委員さん

●交野市民生委員児童委員協議会●

地域住民とのふれあいを通して、  
民生委員活動をPR

民生委員・児童委員が活動を進める  
うえで重要となるのが地域住民の理  
解を得ることです。そのためには地域  
に密着した「顔の見える」活動が求め  
られます。今回は、交野市民児協の取  
り組みについて新庄桂子会長をはじ  
め、各部長にお話を伺いました。

「民生委員の活動をもっと知っていただきたい」  
と語る交野市民児協の新庄桂子会長



多数の市民が訪れる  
市のイベントに参加

交野市では、毎年11月の第2  
日曜日に「交野市健康福祉フェ  
スティバル」が開催されています。  
この催しは、小さな子どもから  
高齢者まで多くの市民が訪れる  
人気イベントで、平成23年で20  
回目を迎えました。健康や福祉  
に関するさまざまなブースが設  
けられているほか、福祉施設など  
による焼きそばやクッキーなどの  
物品販売やバザー、和太鼓の演  
奏なども行われています。

交野市民児協もみたらし団子  
の販売や牛乳パックを再利用し  
たバクバク人形づくり、施設ブー  
スへお手伝いなどで参加。イベン  
トの盛り上げに協力しています。

「フェスティバルが始まった当初  
は、障がい者施設や団体のブー  
スをサポートしていただけでした  
が、自分たちでも何かしたいと、  
みたらし団子の販売を手始めに  
参加するようになりました」と  
新庄会長。みたらし団子は毎年  
大人気で、平成23年のフェスティ  
バルでもお昼過ぎには用意した  
1500本が売り切れたそうです。





新庄会長を中心に各部会が協力して活動を進めています



「上手なPR方法がないか、検討を進めています」と語る委員



活動を周知する  
絶好のチャンスに

視野の狭い幼児の世界を体験できるコーナーも設置。「以前、研修で訪れた「京あんしんこども館」（京都）に子どもの視野の狭さを体験する展示があり、これはぜひ紹介したいと思ったんです。大



主任児童委員が段ボールなどで作成した幼児視野体験コーナー



牛乳パックを使ったおもちゃづくり。たくさんの子どもが参加しました



「交野市健康福祉フェスティバル」で毎回人気のみたらし団子

人は車が向かってくるのを確認できても、子どもの目線に立ってみると気がつかないんです。このコーナーでは、幼児の視野を疑似体験できるメガネをかけていただき、わたしたちが段ボールで作成した車を使ってどこから車が見えるようになるか、親子に体験していただきました」と主任児童委員代表。実際に子どもに視野を体験すると、車が近くまで来ても気づかないため危険性を実感できます。

また、11月が児童虐待防止推進月間であることから、大勢の親子が集まる絶好の機会を生かそうと、民生委員お手製のオンラインジリポンを相手の胸につけ啓発活動を行いました。500個用意したリボンが1時間ほどでなくなるなど、大きな反響があったそうです。また、民生委員活動のPRも展開し、地域住民に民生委員活動を知っていただくために「民生委員は腕章や揃いのエプロンを着用、ご近所の方から「民生委員やってたの?」と声をかけられました。顔を知っていただく機会になっていと思う」「これだけ参加者が多く、年齢層も幅広いイベントは他にないので、我々の仕事を知っていただくチャンス」などの意見が各委員から聞かれました。



「災害研修は好評でした」と話します



意見を述べる障がい者福祉部会担当



取材中は各民生委員・主任児童委員からさまざまな声が聞かれました

## 地域住民との協働を 目指した取り組み

交野市民児協では、その他にもさまざまな「顔の見える」PR活動や地域との協働を進めています。民生委員・児童委員および主任児童委員の役割を記載したチラシを作成し、子育てサロンや各種イベントなどの機会に配付したり、市内の小・中学校の校門前でのあいさつ運動などを展開しています。「あいさつ運動をするようになってから子どもたちが私たちの顔を覚えてくれているので、学校外で見かけたときに声をかけやすくなりました」と地域の子どもたちとの交流のきっかけになったようです。また、学校訪問も学期ごとに実施しており、校長・教頭と情報交換を行っています。

東日本大震災を受け、交野市民児協主催で災害研修も実施。避難者名簿の作成や避難所での世話役の選出、物資や食糧配給の伝達など、避難所の運営を想定した研修で、市長をは



「イベントはPRのチャンス」と語ります

じめ地域住民など多数が参加して行われました。「参加された皆さんからの評価が高く、今年も形を変えて実施したいと思います」と新庄会長。地域の方に民生委員の役割を再認識してもらう機会にもなったといいます。

## 民生委員同士の 交流も深まる

こうしたさまざまな活動は、地域住民などへのPRだけではなく、民生委員同士の交流にも役立っているといいます。「民生委員の仕事はどうしても個人の仕事になってしまうので、活動で集まることで輪が生まれますし、新しく民生委員になった人が相談しやすい環境もできました」と新庄会長は話します。全

委員を対象とした相談技法の研修や10人ほどのグループに分かれて事例研修を行っているほか、各部会や各地区単位での研修なども重ねており、活動しやすい環境づくりとスキルの向上にも取り組んでいます。

今後の課題としては、さらに民生委員の活動を周知することや、災害時の役割分担などを挙げられていました。「自分自身も民生委員になるまで具体的な役割を知らなかった。もっとPRしたいと思う反面、何でも引き受ける」と活動の負担になってしまいうため、地域と一緒に活動していきたいです」と抱負を述べられていました。



民生委員・児童委員、主任児童委員の活動をPRするチラシを作成

# 民生委員・児童委員が活動しやすくなるために



## 第6回 ～河内長野市民児協～



全体連絡会の様子

2010年度中に児童相談所が対応した虐待相談件数は5万5000件を上回り過去最高になっています。虐待防止にむけ、民生委員・児童委員、主任児童委員への期待はより一層高まっています。

民生委員・児童委員、主任児童委員がその役割を果たすためには、まずは地域住民や学校や関係機関にその活動を十分に知ってもらうことが大切になります。その上で、関係者と役割分担し、協働体制づくりをすすめることがより効果的な支援活動につながっていきます。

今回は、これらの実現のため学校等関係機関との協働促進、PR活動に力を入れて取り組んでいる河内長野市民児協取材しました。

### 学校等教育機関との連携

虐待の件数の増加や、児童を取り巻く環境が複雑化し、学校等の教育機関単独でこれらの課題に対応していくことが大変困難になっているという現状の中、河内長野市民児協では、平成23年度より市内の主任児童委員と各校区の学校長、教育長が集まり年に1回の連絡会の場を設けています。それまでは委員が直接学校訪問を行っていましたが平成22年度の一斉改選により全小学校区に主任児童委員が配置されたことをきっかけにこのような場が設けられました。

連絡会は教育長の挨拶から始まり、校長、主任児童委員の紹介、主任児童委員部会の事業説明や校長会からの連絡など共通認識を深め、その後、校区ごとに分かれ個別の懇談を行っています。

この懇談の機会を持つことで主任児童委員の役割が理解促進され、学校からも直接児童の問題について相談を受けるようになりました。また困難事例についても学校長等と課題を共有し、知恵を出し合って課題解決の糸口を見つけることができるようになりました。このことは民生委員・児童委員にとって活動しやすい環境づくりにもつながっています。

### さらなる活動の充実に向けて、今後の課題

今後は連絡会議に校長だけでなく、現場の先生方にも参加していただけるように働きかけることが目標です。担任の先生が児童の課題を一人で抱え込むのではなく、地域と連携して児童を見守る体制

づくりが必要になります。

また保護者への相談対応も立場の違う人間がアドバイスすることでスムーズに解決につながるがあります。そういった意味からも、民生委員・児童委員、主任児童委員はより積極的に地域と学校の間に入り、両者をつなぐパイプ役になっていくことが大切だと考えています。

### 民生委員・児童委員のPRのために

虐待や様々な課題を未然に防ぐためには、まずは地域の中に相談できる相手がいることを知ってもらうことが大切です。

この連絡会をもつことで、学校の就学前説明会の時に、学校長より民生委員、児童委員、主任児童委員の役割紹介をしていただくようになりました。また、学校新聞にも主任児童委員の紹介や電話番号等を掲載しています。その結果、実際に保護者から連絡があり、支援につながったという事例もあります。

今後は学校や関係機関とさらに協働し課題の解決や予防に取り組みながら、民生委員・児童委員、主任児童委員の存在や役割をさらにPRし、活動しやすい環境づくりの実現に向けた取り組みを進めたいと思っています。



校区別に分かれての懇談会の様子



# 民児協だより

吹田市

## 福祉バザーについて

吹田市民児協では昭和53年度から、毎年福祉バザーを実施し、収益金を例年市内の福祉施設に寄附しています。

平成23年度は7月14日（木）に準備を行い、翌15日（金）にバザーを開催。全委員の2割にあたる約100人が両日参加しました。

たくさんの人で 熱気ムンムン



準備としては物品の搬入や開棚、商品分類などを行います。猛暑の中での作業とあって、かなりハードです。食料品やタオル、毛布類から日用雑貨、靴・鞆など、分類を終えると値付けを行います。高すぎても売れないし、安くすれば寄附金額に影響するため、ここは値付け担当者腕の見せ所でもあります。衣料品や瀬戸物、食器類は値付けが難しいため、複数の目で選定して値付けを行い、準備は完了です。

例年、本市民児協のバザーは品物が豊富で価格が安いと評判が高く、翌日の開催が楽しみです。

バザー当日は例年通り早朝から長蛇の列ができていました。開場の時間になると、待ちわびたお客さんは皆お目当てのコーナーへ直行。場



テキパキ協力、分担ばっちり!

内はものすごい熱気で溢れ、冷房も効きません。お客さんもスタッフの委員も皆汗だくでした。

こうして約2時間後、大半の品物を販売し、無事福祉バザーを終了しました。平成23年度は約60万円の収益金全額を東日本大震災義援金として寄附しました。

今年度も7月13日の実施に向け、第1回実行委員会を3月26日に開催しました。今回も収益金は東日本大震災義援金として寄附する予定です。

吹田市民児協  
広報部会長 渡邊達雄

## 四 條 畷 市

### 子育て講演会

平成23年10月12日、四條畷市市民総合センターにおいて、第11回子育て講演会を開催しました。講師には、毎回子どもに関するテーマをご講演いただいております交野市在住の小児科医、寺嶋秀幸先生をお招きしました。

今回のテーマは、「よく見る子どもの症状について」発熱、咳、けいれんの対処法について講演をしていただきました。先生の説明もわかりやすく、また、質疑応答も活発に行われ、非常に有意義なひと時を過ごすことができました。この講演を通じて、子育てにおける不安や悩み等が少しでも軽減され、また、地域の交流を通じて楽しく自信をもって子育てに専念していただけたらと願っています。

また、講演中は、お母様方が集中して受講していただ



保育をしている間お母様方は熱心に受講していました



子どもたちとおもちゃ遊びをしました



紙芝居や絵本の読み聞かせをしました

るように、民生委員児童委員や主任児童委員が子どもたちの保育を担当させていただきました。子どもたちは、おもちゃで遊んだり、紙芝居を見たり、時には元気に走り回ったりして、子育て経験者でもにわか保育士を務めるのは大変でした。子どもたちにはお土産に、手づくり

のおもちゃとヤクルトを用意しています。

講演会も終了し、子どもたちは無事に親元へ。若いお母さんから、「安心して受講することができました」とお礼の言葉をいただき、お役に立てて本当に良かったと思う気持ちと心地よい疲労感を味わうことができ、次回開催の時もぜひともお役に立ちたいと思っています。

### 四條畷市民児協





府立農芸高校  
の生徒とどうぶ  
つと子どもたちの  
ふれあうコーナー

## 民児協だより



### 河南町

#### 子どもゆめづくりフェスティバルの開催

平成24年5月12日に「第3回子どもゆめづくりフェスティバル」を河南町立総合体育館で民生委員のPR月間に併せて開催しました。

この事業は、平成22年から河南町の将来を担う子どもたちが一同に集い、楽しみ心豊かに過ごすひとときを持つとともに、福祉活動の担い手としての意識を育てることを目的として始めました。

昨年、「子どもさわか賞」金賞受賞を含め応募作品をパネル展示。また5地区47名の委員で、子どもたちがどうすれば楽しい時間を過ごせるかを検討し、風船で遊ぶ、金魚すくい、動物とふれあおう、自転車とあそぼう、おえかきとかみあそびのコーナーを体育館の内と外で実施。あちらこちらから子どもたちの笑い声や笑顔があふ

れ、フェスティバルは大盛況でした。小さい子どもから中学生まで400名近くの来場者にスタンブラリーカードを渡しました。帰りにカードと引き換えに三角くじを引き、当たったお菓子を持って家族と帰る子どもたちの笑顔に、委員から「来年も趣向を凝らした催しをしたい」との声が上がり、今後もこの事業を継続していきたいと思えます。

#### 河南町民児協

会長 廣野 清枝



金魚すくい自転車とあそぼうコーナー



風船であそぼうコーナー



おえかきとかみあそびコーナー

## 田尻町

### 高齢者・児童への見守り活動

「友愛訪問」高齢者の誕生日にお祝いのお饅頭をお届けにいきます



田尻町は府内で面積が二番目に小さい自治体で、校区も保・幼・小・中学校とも各1校、人口は8340人の町です。

当民児協では誕生月に該当する70歳以上の1352名の方達にお祝いのお饅頭や行政の長寿祝金をお届けし、安否確認をしています。会話の中から日々の様子やうかがい知ることが出来ます。高齢化が進み一人暮らしの方が増える中、要援護者や気掛かりな人達を訪問し、困っていることや心配事などいろいろなお話を聞きつつ孤立しないようにと見守り、声掛けを心掛けています。各地域担当の民生委員・児童委員は「災害時一人も見逃さない運動」に係る「要援護者」宅を地図上に落とし、事務局と各自が保管して緊急時

には迅速な対応が取れるようにしています。また、災害や緊急時には本人の必要な救急医療情報をキットに入れた冷蔵庫に保管して置くよう、対象者の家庭を訪問、説明をして、イザ、という時の備えもしています。

児童に関しては、独自の登校パトロール、「子ども見守り隊」に参加や青色灯パトロール車の利用等で登下校の安



訪問し、お話をすることを心がけています

全、見守りを実施しています。いろいろな集まりでも隣同士の見守り、声掛けの大切さを話し、不幸なことがない様に願っています。

高齢者、児童ともに事故や事件の起こらないように我々民児協が中心になって各種団体や近隣と協力のうえ、安全、安心な町づくりに取り組んでいます。

田尻町民児協  
在木清子





## 民児協だより

### 豊中市

#### ひとり暮らしの高 齢者の安心・安全 を確保するために とよなか安心キット

平成24年4月より豊中市は中核市となりました。さまざまな事務権限が市へ委譲され、われわれ民生委員児童委員にとりましても、市民サービスの向上において大きな期待を抱いているところです。

一方、高齢化率が22%を超え、家族や地域とのつながりが希薄になっていく傾向が顕著に見られる中、常に不安を抱きながら活動を行っていることも事実です。

その不安解消の一助として、昨年より豊中市においても緊急時に備えた安心キットの配布を実施しています。このキットは、民生委員を通じて豊中市にひとり暮らし高齢者として登録をされている方に対し、持病や緊急時の連絡先を記した用紙と保険証の写し等

を冷蔵庫に保管できる容器と共に、一軒一軒民生委員が手渡しで配布しています。現に体調急変時にこのキットが救急隊員により活用され、尊い一命を取り留めた例もありました。個人情報保護の観点から、なかなか登録に積極でない方も多くいらっしゃいますが、この地道な活動を推進していくことで、ひとり暮らしの方が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるように努めたいと考えています。

#### 豊中市民児協連



とよなか安心キットを一人ひとり手渡しで配布



中には、緊急連絡票や冷蔵庫に貼るステッカーなどが入っています

## 主任児童委員の動き

### 主任児童委員連絡会 ブロック事業がスタート!!

平成24年度より大阪府民児協連の主任児童委員連絡会として関係機関のご理解のもとブロック事業が実施されるはこびとなりました。

昨今児童をめぐる課題は、児童虐待をはじめ、青少年による犯罪、非行、不登校、ひきこもりなど非常に深刻な状況にあります。それらは現代社会全体が抱える課題が背景にあり、非常に複雑化しています。

このような中、地域の子育て支援機能を補い、当事者が地域で孤立することがないよう、児童委員による活動が展開されていますが、主任児童委員はその活動に連携・協力して、民児協全体として児童委員活動を推進していく役割が求められています。

また課題解決のために、多様な団体との協働がかかせない状況になっていますが、主任児童委員は子ども家庭センターや市町村、地域関係団体との協力体制を築くなど、民児協内において他団体との協働の役割を果たしています。

このような支援を効果的に展開するためには、主任児童委員による市町村域を超えたブロックでの研鑽やネットワークづくりが必須であり、今年度より大阪府民児協連として主任児童委員の活動強化のためにブロック事業を開催します。

つきましては、連絡会や研修の実施にあたり、主体的に取り組んでまいりますのでブロックにて運営および諸事務等のご協力のほどよろしくお願いいたします。

大阪府民児協連 主任児童委員連絡会 代表

下田 幾子

今年度の主任児童委員関係の会議、研修会は以下のとおりです。

#### ■ 今後のおおまかな行事予定

|          | 4～6月                                   | 7～9月 | 10～12月                                 | 1～3月                    |
|----------|----------------------------------------|------|----------------------------------------|-------------------------|
| 大阪府全体    | 役員会<br>第1回主任児童委員連絡会全体会議<br>(全体会議、情報交換) |      | 役員会<br>第2回主任児童委員連絡会全体会議<br>(全体会議、情報交換) | 主任児童委員研修会<br>(研修センター実施) |
| ブロック別予定表 |                                        |      |                                        |                         |
| 北摂ブロック   | 北摂ブロック全体会議                             |      | 研修                                     | 研修                      |
| 河北ブロック   | 研修                                     | 役員会  | 河北ブロック全体会議                             |                         |
| 河南ブロック   | 研修                                     |      |                                        | 施設見学                    |
| 泉州ブロック   | 研修                                     |      | 研修                                     |                         |

## 表紙の作品と作者

●社会福祉法人 よさみ野福祉会●

大阪市

よさみ野障害者作業所内

「スイーツメイド・よさみの」  
のみなさん

サクサクとした食感のクッキーとアーモンドの香り広がるバリバリのヌガーの組み合わせが絶妙な「アーモンドクッキー」。これは大阪市住吉区にある社会福祉法人 よさみ野福祉会よさみ野障害者作業所にある「スイーツメイド・よさみの」のみなさんが焼いた自慢のクッキーで、平成22年度大阪府授産製品コンペティションでは「審査員特別賞」を受賞しました。

よさみ野障害者作業所は、主に知的に障がいを持たれている方が通所されて、クッキーやパウンドケーキ、ジャムなどの製造・販売、紙すき製品の製造・販売、内職作業に取り組んでいます。クッキーの製造に取り組み始めたのは、認可作業所となった10年前のこと。「菓子製造の知識を持つ職員はいませんから、最初はまず知り合いのケーキ屋さんにレシピを教えてもらうなど、手探りでスタート。最初の頃は失敗も多かったです」と担当職員の増田さんはいます。



一つ一つ丁寧にクッキー生地を絞り、並べていきます



計量や生地づくり、ヌガーをクッキー生地に重ねていく作業などは、利用者さんが分担して行っています。焼き作業は職員が担当

現在、食品班としてクッキーなどの製造に携わっている利用者は6名。取材当日はちょうど、翌日につくるクッキー生地の仕込みとアーモンドクッキーの焼き作業を行っているところで、利用者さんは、職員のサポートのもと、材料の計量や生地づくりを丁寧に取り組んでいました。材料にもこだわりがあり、卵は、兵庫県豊岡市但東町で生産されている丹熊卵を使用。卵本来の濃厚な味がするといえます。

焼き上がったクッキーはこの後梱包され、保育所のおやつとして納品しているほか、近隣の喫茶店や住吉区役所、NPO法人を通じて企業の社員食堂などでも販売しています。さまざまな場所で販売することで企業から「この材料を使ってみないか」「これを作ってみないか」といった提案を受けたこともあるそうです。

1枚1枚丁寧につくられた「スイーツメイド・よさみの」のクッキー。お茶の時間にいかがですか。

＊お問い合わせ先＊

〒558-0023

大阪市住吉区山之内4-12-31

TEL.06-6699-7767

FAX.06-6699-7888



## 編集後記

全国で「孤立死」問題が相次ぎ、特に社会とのつながりを失った世帯が家族ごと共倒れするといった事例が増えています。このような問題を解決するために民生委員はこれまでよりもいっそう関係機関との協働を深め地域住民の立場に立った援助活動を進めていく必要があります。まだまだ暑い日が続きますがお体ご自愛のうえ、ご活躍ください。

Well つエル おおさか vol.27  
(通巻61号)

発行日:平成24年7月

発行:大阪府民生委員児童委員協議会連合会

事務局:大阪府中央区中寺1-1-54 大阪府社会福祉協議会内

TEL.06-6762-9486 FAX.06-6762-9487

URL <http://www.osakafusyakyo.or.jp/minkyo/>



この冊子は再生紙を使用しています。